

令和3年 第1回定例会 代表質問で登壇

公明党を代表して 2月19日に質問を行いましたので要旨と答弁を掲載します。



2月19日の代表質問に登壇

今後の区政の考え方について

- 1 ア 区においてもワクチン接種のリハーサルを行うべきと考えるがどうか。
イ 高齢者施設の従事者の接種について国では入所者と同時でも差し支えないとの見解だが本区の実施について伺う。
ウ ケアハウス、シルバーピア、自宅で寝たきりの方、簡易宿舎や住所不定の方に対する接種について伺う。
エ 個別接種について、現在の準備状況を伺う。
オ ワクチン接種に対する情報発信が重要と考えるがどうか。
2 新型コロナとの戦いは今後も続くことから永寿総合病院は更なる体制強化が必要と考える。支援を行い地域医療の向上を図る必要があると考えるがどうか。
3 区長は所信表明にて「保健所人員体制の拡充を図ります」と述べたが、現在の保健所の状況と課題について伺う。

A 区長

- 1 ア 事前に本番を想定したリハーサルを行い、万全を期して参りたい。
イ 施設内でのクラスター対策のより一層の推進のため実施する。
ウ ケアハウスについては高齢者施設と同様。シルバーピアや簡易宿舎は医療機関や集団接種会場で接種。寝たきりの方はかかりつけ医による訪問診療で行い、住所不定の方はやむを得ない事情がある場合、区に申請していただく事になる。
エ 区内4病院では、超低温冷凍庫の設置を進めながら日程調整する。各診療所では、ワクチンの小分けや輸送方法などの検討がまとまり次第、医師会等と診療所について調整していく。
オ 国や都が公開する情報とあわせ、公式ホームページや広報たいとうをはじめ、広報媒体を活用し、随時、正確に発信していく。
2 年末年始には、24時間体制で発熱患者等の診療・検査体制を確保するなどコロナ禍における地域医療を支えています。今後の体制強化に

A 区長

については「中核病院運営支援協議会」で協議を行い、その結果に基づき支援を実施していく。
3 患者数の増加にあわせて業務量も膨大になる一方、食中毒予防等の通常業務も疎かにはできない。このため昨年度末より様々、人員体制を充実させ、きめ細かな対応を継続してきた。今回、さらにワクチン接種担当部長及び担当課長を設置し、体制強化を図っていく。

令和3年度予算案について

区財政は、特別区税等の減収が見込まれる一方、行政需要が増大し、これまで以上に厳しい財政運営が強いられる。

- 1 どのような思いで予算編成に取り組んだのか。
2 持続可能な財政運営のために基金を有効活用するとともに、区民への分かりやすい情報発信を行うべきではないか。

A 区長

- 1 感染症対策等、新たな行政課題に加え、社会保障関連経費等の予算を確保した。予算の着実な執行により区民の生命と暮らしを守り抜き、明るい未来を築き上げるために全力で区政運営に取り組んでいく。
2 将来の需要等に留意した基金の活用とともに、充当事業を示すなど情報発信の充実に努めていく。

観光戦略の見直しについて

コロナ禍で観光産業は甚大な被害を受けている。今後は観光客の行動が変容し、個人・少人数かつ非接触・非対面の観光が進むと思われる。

- 1 従来の戦略を見直し、収束後にいち早く来街者を呼び込めるよう準備すべき。
2 観光事業者への支援は必要と考える。

A 区長

- 1 事業者の情報発信や集客イベント以外の手法による誘客の検討と進めている。観光関連団体等の意見も伺いながら先を見据えた観光振興の方向性を検討していく。
2 事業の転換等、新たなビジネスに取り組む事業者への支援等を展開している。今後も相談体制の充実等、積極的に取り組んでいく。

ポストコロナへ向けた区長の基本姿勢について

ポストコロナ時代を迎えるにあたり、区民への力強いメッセージと、希望溢れるこれからの台東区像について伺う。

A 区長

コロナ禍の影響による社会の変革を的確に捉えながら、区民とともに前を向いてまちの活力を取り戻し、明るい未来を切り拓いていく。そのため、各分野の施策や取り組みを着実に推進するとともに、長期総合計画を改定し、「世界に輝くひとまちたいとう」の実現を図っていく。

小坂よしひさ 粋いき台東へ 身近な区民のサポーター！ 台東粋いき新聞



コロナ禍、克服の一年に

小坂よしひさです。

新型コロナウイルスは本年に入り、さらに猛威を振るい1月7日より緊急事態宣言が再発令されました。3月22日宣言が解除されましたが、変異株ウイルスも発生するなど感染の収束は未だ、見通せない状況下にあります。しかし冬は必ず春となり、朝の来ない夜はありません。

ワクチン接種もいよいよ始まり、この令和3年、新型コロナウイルス感染症を何としても、克服する一年にしてまいりたいと念願する次第です。

私たち区議会公明党議員団は昨年、新型コロナウイルス感染症が発生してより国と東京都に対し2度の緊急要望を提出。そして台東区には8度、緊急要望を提出し、その結果、永寿総合病院に対するPCR検査の拡大や人的支援、本庁舎や小学校へのサーモグラフィーカメラの設置、申請証明書における発行手数料の無料化やオンライン学習の早期化など、進めることが出来ました。

本年に入り今まで、1月19日、26日、2月19日の計3度にわたり緊急要望を提出。服部区長に対し、保健所の負担軽減や物販店に対する支援、20項目にわたる安全・安心なワクチン接種の展開など求めてまいりました。

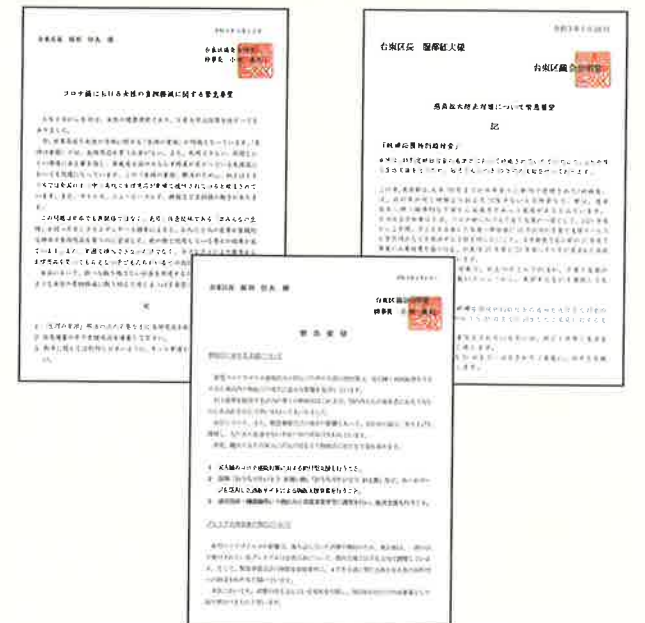
また、3月12日には社会的な課題、論点の一つに女性の孤立・孤独、うつや自殺の増加などがあります。公明党女性局で先般、コロナ禍における女性の意見・要望を聞いたところ、その一つとして女性の生理用品購入の問題がありました。

台東区議会公明党としてその問題に着目し、「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出いたしました。

ウィズコロナの只中、区民の生命・健康を守り、事業者の事業・経営の継続を支えるため総力を挙げて頑張っている所存です。

令和3年度緊急要望の主な項目として

- 1 区職員の出勤体制について柔軟性を持たせた体制にするよう求める。
2 クラスター予防のため教職員へのPCR検査の実施を求める。
3 プレミアム商品券の発行について求める。
4 経済的かつ精神的に不安定な方の相談機関とする協議体設置を求める。
5 自宅で療養・待機しているすべての方にパルスオキシメーターを貸与する体制を早急に求める。
6 相談事業におけるオンライン体制を構築するよう求める。
7 受験する児童・生徒が濃厚接触者になる場合、速やかなPCR検査を実施し、受験に間に合うよう通知することを求める。



何かありましたら、ご相談下さい

新型コロナウイルス感染症の影響による悩みなど、内容に応じた相談窓口があります。
ひとりで悩まずに、まずはご相談ください。

こころの悩みに関する相談窓口

「気分が落ち込んでつらい」
「睡眠がうまくとれなくてつらい」など
こころの健康相談（精神科医による相談）

●台東保健所保健サービス課 TEL 03-3847-9497
●浅草保健相談センター TEL 03-3844-8172

「生きていくのがつらい」「家族や友人が心配」など

●東京いのちの電話 TEL 03-3264-4343
●東京自殺防止センター TEL 03-5286-9090
●東京都夜間こころの電話相談 TEL 03-5155-5028
●東京都自殺相談ダイヤル
～こころといのちのほっとライン～
TEL 0570-087478



経営の悩みに関する相談窓口

「国や都などの支援策について教えてほしい（一時支援金、感染拡大防止協力金等）」など

●緊急経営相談ダイヤル TEL 03-5829-8078
火・土・日曜日・祝日午前10時～午後3時、木曜日午後3時～7時
※土・日曜日・祝日の相談は3月28日（日）までです。

ひきこもりに関する相談窓口

●相談受付専用ダイヤル（〈公社〉青少年健康センター茗荷谷クラブ）
TEL 03-3941-1613
月～土曜日午前10時～午後6時
※中学卒業後～39歳のひきこもり等の状態にある方とその家族が対象です。

消費者トラブルに関する相談窓口

「注文した覚えがないのにマスクが宅配便で届いた」など
●台東区消費生活センター TEL 03-5246-1133

発熱等の症状がある場合の相談窓口

発熱等の症状が生じた場合、かかりつけ医へ電話で相談することが基本となります。受診の際は必ず事前に電話で確認してください。かかりつけ医がない等相談する医療機関に迷う場合は、下記相談センターへ電話で相談してください。

●台東区 発熱受診相談センター（月～金曜日 午前9時～午後5時）※祝日を除く
TEL 03-3847-9402
FAX 03-3841-4325 ※聴覚に障害のある方などからの相談
●東京都 発熱相談センター（24時間）
TEL 03-5320-4592

症状が軽い場合や、感染したかもしれないなど不安に思う方は、下記窓口へご相談ください。

●東京都新型コロナウイルス感染症電話相談窓口（午前9時～午後10時）
TEL 0570-550571
FAX 03-5388-1396 ※聴覚に障害のある方などからの相談

DV被害・人間関係等に悩んでいる方の相談窓口

●たいとうパープルほっとダイヤル（DV相談専用ダイヤル）

TEL 03-3847-3611

月～土曜日午前9時～午後5時
※第1・3・5日曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始を除く

●こころと生きかたなんでも相談（予約専用電話）

TEL 03-5246-5819

火・土曜日午前10時～午後4時、水・木曜日午後5時～9時



子育てに関する相談窓口

子育て総合相談

●日本堤子ども家庭支援センター

TEL 03-5824-2571 FAX 03-3873-2617

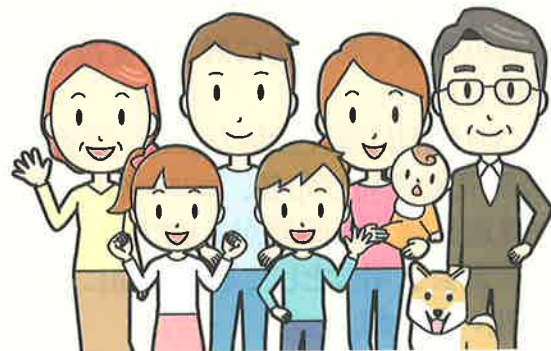
●台東子ども家庭支援センター

TEL 03-3834-4497 FAX 03-3834-4426

●寿子ども家庭支援センター

TEL 03-3841-4631 FAX 03-3841-4643

※メールでの相談も受け付けています。詳しくは、区HPをご覧ください。



生活や仕事に関する相談窓口

「生活が苦しい」「仕事が見つからない」など

●生活困窮者支援担当 TEL 03-5246-1158

新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談窓口

台東区におけるワクチン接種に関するお問合せは下記コールセンターをご利用ください。

●台東区コロナワクチン コールセンター

（午前9時～午後6時、土・日曜日・祝日も対応）

TEL 03-4332-7912

厚生労働省電話相談窓口もありますので併せてご利用ください。

●厚生労働省新型コロナウイルスワクチン コールセンター

（午前9時～午後9時、土・日曜日・祝日も対応）

TEL 0120-761-770



台東区議会公明党区議団

令和3年度予算要望(令和2年9月提出)より実現

ポストコロナ時代の台東区

「新たな日常」の実現のために

小中学校でのICT等活用した業務改善の支援について。児童・生徒へタブレットパソコンを貸出し自宅に持帰り使用することが可能に。



- 地域産業、商店街の元気創造のために**
飲食及び来店型店舗感染防止の換気及び感染防止等設備改修、消毒用品等購入助成について。
- 本物に出会えるまち、おもてなしの心満載の文化観光都市とするために**
上野・浅草・谷中周辺別、作品別「聖地巡礼〇〇歩き」の推進について。
- 災害に強い先進都市台東区とするために**
風水害専門「たいとう風水害ブック」を作成。
- 暮らしやすい、便利なまち台東区とするために**
自転車あおり運転を対象とする改正道交法等踏まえマナーの周知について。
- 一人として置き去りにしない福祉・健康先進都市台東区を実現するために**
重度障害児におけるショートステイへの移動支援実施について。
- 誰もが輝き、活躍できる社会の実現のために**
中小企業のテレワーク導入経費の一部補助について。
- 子育て支援、創造性・人間性豊かな教育、生涯学習社会の実現のために**
移動の自粛により里帰り出産が出来ない方の産後ケアにおけるショートステイの実施。区内小、中、幼、保、こども園にサーモグラフィーやアクリル板等、感染症対策用品の配備について。
- SDGsを推進するために**
区や日本たばこ産業設置喫煙所を廃止し閉鎖型脱煙付公衆喫煙所の設置。
- 区民本位の区役所へガバナンス強化のために**
コロナ禍での新たな方針として基本構想、長期総合計画見直しについて。税、保険料及び使用料、手数料の納付につきダイレクト納付、インターネットバンキング等納付、QRコードでのコンビニ納付、クレジットカード納付について。

